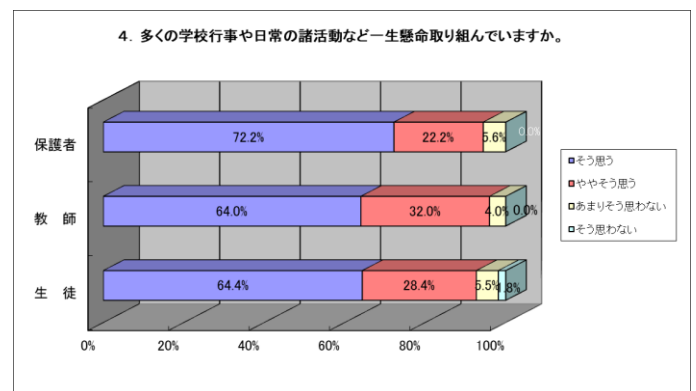
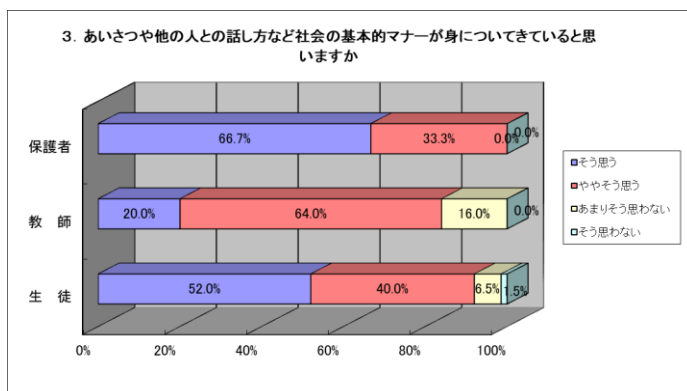
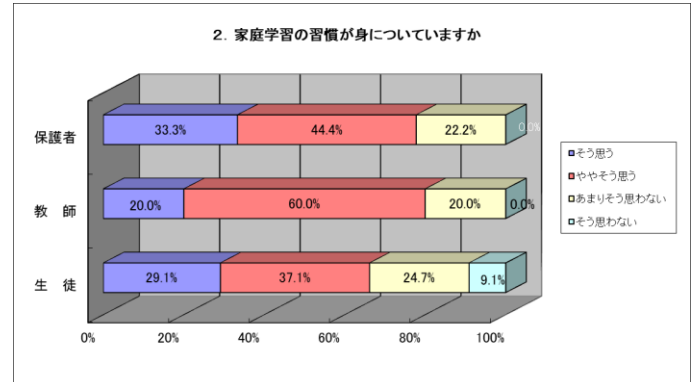
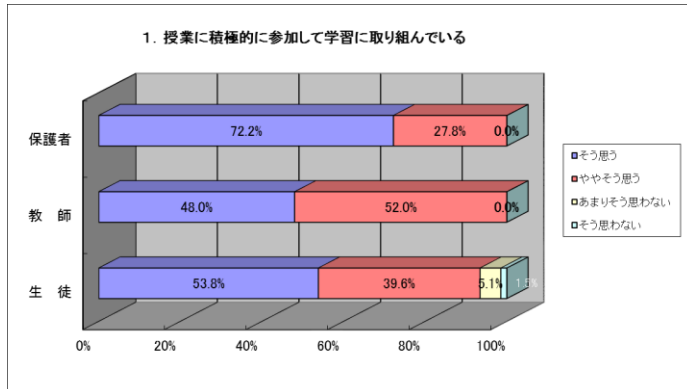


- 1 調査目的 生徒がより良い教育活動を享受できるように、学校が学校としての目標や取組等の達成状況を明らかにして、その結果をもとに学校運営の改善を図るために行う。
- 2 実施時期 平成30年12月実施
- 3 調査対象 教師・保護者・生徒
- 4 調査内容 1 2 の設問
教師と保護者・生徒は同様の質問内容。ただし、生徒は設問5と設問1 2のみ内容的に適さないため割愛
- 5 調査結果と考察



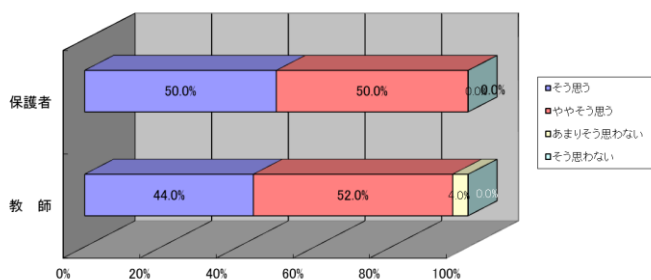
☆設問1では、生徒からの「そう思う・ややそう思う」の肯定的評価が多く、授業に積極的に参加して、学習に取り組んでいる様子が見えかけます。保護者、教師の回答では肯定的評価が100%となり、また「そう思う」の数値は昨年度結果より高くなっています。今後も生徒が積極的に授業に取り組み学習意欲を高められるよう授業改善や工夫をしていきたいと思えます。

☆設問2については、約66%の生徒が「そう思う・ややそう思う」の評価結果でした。また教師においては80%が肯定的回答をしました。昨年に比べ、それぞれ約7ポイント、32ポイント増えており、改善されてきたことが伺えます。しかし否定的な回答もまだまだ多く、自主学習ノートの実施方法を工夫し、意義を明確にする中で充実感や達成感をもてるように、家庭学習の成果が実感できるよう努めていきたいと思えます。

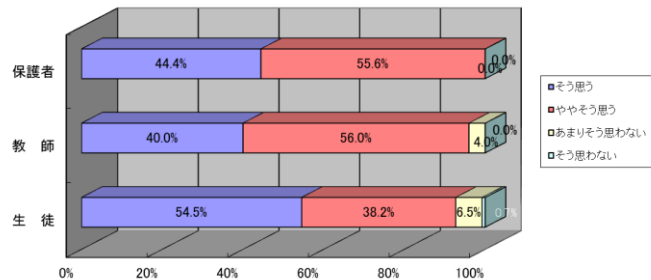
☆設問3の基本的マナーについては、生徒、保護者ともによく身につけているという評価です。また教師の評価でも昨年より改善傾向が見て取れますが、今後も一層力を入れて指導しなければならないと考えています。

☆設問4では、生徒・教師・保護者の90%以上が「そう思う・ややそう思う」の回答結果でしたが、生徒においては7%の生徒が否定的な回答をしており気になります。今後は活動のねらいを明確にしながら、さらに充実感や達成感が味わえるように、教師、生徒共、目指していきたいと思えます。

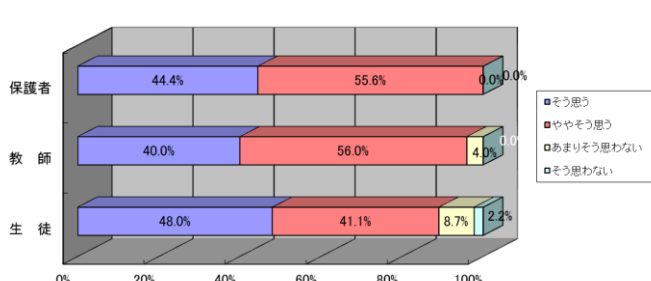
5. 学校は子どもの生活指導や交通安全指導など適切に取り組んでいると思いますか



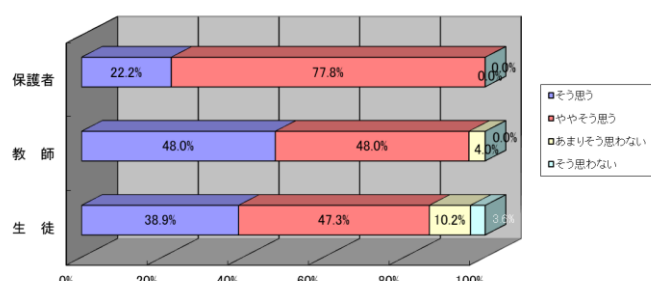
6. 学校は人の生き方について考えたり、豊かな心を育てていると思いますか



7. 仲間と協力して学校生活を向上させようとしていますか



8. 学校は分かりやすい授業に努めていると思いますか

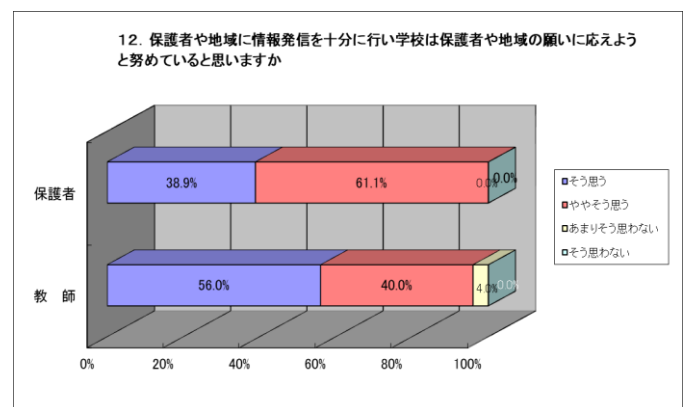
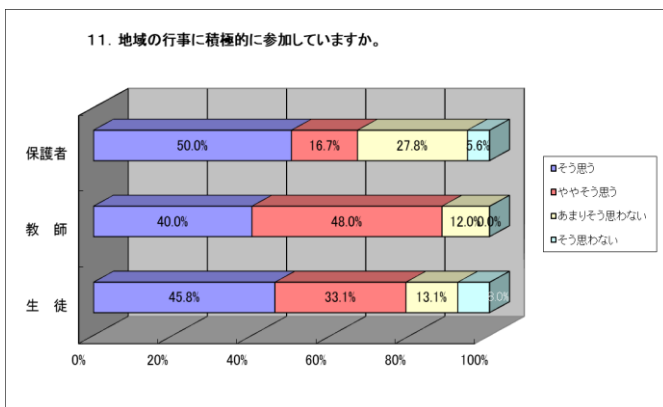
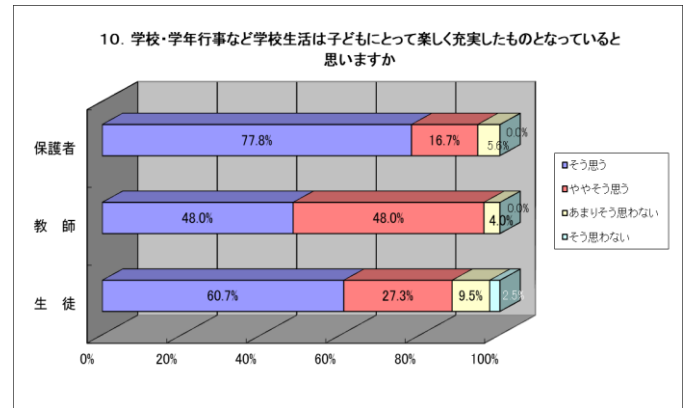
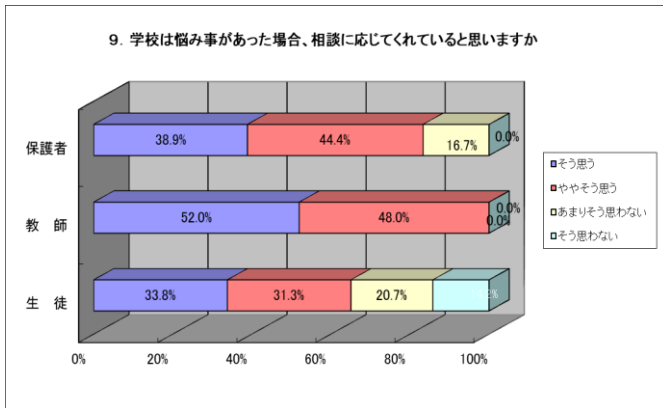


☆設問5の生活指導と安全指導に対する取組については、保護者からの「そう思う、ややそう思う」の回答が100%でした。教師の肯定的回答は96%で、昨年度より11ポイントの改善が見られますが、生活・安全指導は学校教育の基盤となるもので、最も重視しなければならない項目のひとつです。今後も一層の改善を図り、保護者のさらなる信頼を得られるよう努力を継続していきたいと考えます。

☆設問6の「人の生き方」「豊かな心」については、学校経営方針の重点項目にも思い遣る心として掲げられている内容です。保護者の「あまりそう思わない、そう思わない」が一昨年から0%になり、良い評価を示しています。教師、生徒も昨年度よりさらに評価が改善されています。道徳の教科化を控えて、今年度は指導の工夫、改善に取り組んできた結果が表れたと考えます。今後も引き続き、継続して取り組んでいきたいと考えます。

☆設問7では保護者、教師は良好であると感じている一方、「あまりそう思わない・そう思わない」と答えた生徒が1割強、否定的なとらえ方をしています。昨年度から5ポイントほど改善されているものの、今後一層生徒理解に努め、仲間とコミュニケーションを上手に取れない生徒や悩みを抱えている生徒に声掛けをし、学校生活が充実するように支援していきたいと思います。

☆設問8では、生徒の13%が「授業が分かりやすいと思えない」と回答しています。決して低い数値ではありませんが、昨年と比較すると20ポイント向上しており、授業改善が進んだことを感じさせます。ただ保護者の回答では肯定的回答が100%であるものの、「そう思う」が22%で、昨年度より30ポイントほど低くなっています。今後も一層授業改善や工夫を図り、わかりやすく楽しい授業をつくり上げられるように日々努力を積み重ねていきたいと思います。各教師の個人的な取り組みはもちろんですが、学校全体としても組織的に取り組んでいきたいと思います。



☆設問9では、教師は肯定的回答が100%でしたが、保護者の17%、生徒の35%が「あまりそう思わない・そう思わない」と回答しています。特に生徒回答は昨年度より26ポイント低下しており、大きな課題と考えられます。この結果を重く受け止め、より一層生徒に寄り添って、その気持ちを理解しながら指導にあたるよう、強く意識して取り組んでいけるよう努力します。保護者の方が気軽に相談できる環境の整備、生徒が安心して登校できる学校づくりに日々努力を積み重ねていきたいと思ひます。

☆設問10では、保護者、教師からはおおむね良好な評価となったものの、生徒からは「あまりそう思わない・そう思わない」という回答が12%ほどありました。しかしこれは、昨年度より6ポイント下がり、改善されてきていると考えられます。全生徒が楽しく充実した行事を取り組められるよう引き続き検討・改善に努めていきたいと思ひます。

☆設問11では、「あまりそう思わない、そう思わない」への保護者の方々からの回答が34%となり、昨年度と比較しても20ポイント近く増加しています。また教師の12%、生徒の21%が否定的回答をしており、現状の認識にも差があると感じます。今後は、保護者、教師間での状況の把握や情報の共有をより進められるよう取り組みたいと思ひます。PTA学校委員会などの場を利用し、地域での活動を議題に話し合うなど、家庭、地域と学校が連携を深めながら教育活動を推進していきたいと思ひます。

☆設問12では、保護者の方々からは、昨年同様、学校側の努力を認めていただいていると感謝しています。しかし「そう思う」の回答は低下しており、今後は「ややそう思う」という回答が「そう思う」となるように継続して、より一層の努力をしていかなければならないと改めて感じています。

